

# 道徳通信

～「二通の手紙」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年1月19日の授業



～～「規則は、何のためにあるのだろう」について考えました～～

幼い弟と女の子が動物園にやってきて、今日は弟の誕生日だから中に入りたいと言います。保護者同伴でなく、入園時刻も過ぎていましたが、元さんは二人を仲に入れてやります。ところが、閉園時間が過ぎて二人は戻ってこず、職員総出で探して、ようやく二人は見つかります。

後日、姉弟の母から感謝の手紙が届きましたが、元さんは「停職処分」になります。職員たちは納得がいきませんが、元さんは自分の無責任な判断で事故にならなくてよかったと、晴れ晴れとした顔で職場を去っていったのでした。

人を喜ばせるためなら規則を破ってもいいのだろうか。規則よりもの心情を優先させたために起こったトラブルを通して、規則は何のためにあるのかを考えました。

●●●●くん 最初は規則は守るためにあると思っていました。しかし、みんなの意見や先生の意見を聞いて授業の最後には、規則を破ることによって人を幸せにすることもあるんだと思いました。でもやはり規則は守ったほうがいいと思うので、自分が元さんだったら、いれてあげることはしないです。

●●●●くん 最初、幸せになれば規則を破っていいと思った。けれどみんなで話し合い規則とは、特定の人物を幸せにするのではなく、誰もが幸せになるようにするのが規則だと思った。

●●●●さん 規則は守るためと、みんなが平等に暮らすためにあると思う。規則がなかったら、みんな好き勝手になってしまうし、みんなが平和に暮らせないと思う。今回のように子供だから入場させたけど、もしそれが大人だったら多分入場させる人は少ないと思う。だから、誰が相手でもしっかりとダメなことはダメといえることが大事だと思った。

●●●●さん 規則は世の中を幸せにする為にあると思う。それよりも幸せなことはあるかもしれないけど、規則は最低限のことだと思う。誰かが幸せになるなら規則を破っていいわけではない。それなら規則というものは必要ないと思う。規則は私たちが守らなければならない最低限のことだと感じた。

●●●●さん 規則は守らなければいけない。でも、周りに迷惑がかからなければいいかとも思った。だけど、自分の責任の重さを理解しないとできないと思った。

●●●●くん 平和と世界をある程度の平等にするために規則はあると思う。だけど、貧富の差や家族の構成によって平等では無くなると思う。だから、「かわいそう」などの感情が出てくるのは、必然だけでも感情で規則を破るのは、いけないと思った。

●●●●さん 規則があるにもかかわらず破るから犯罪が起こる。規則がなかったらそれこそやりたい放題。今回の話は規則を破ったから子供の命だって危なかったし、動物園全体が危なかったかもしれない。だから私は規則がなんのためにあるのか破ることにより何が起こるか、それを確認してから判断すべきだと思った。

●●●●さん どうしても事情があつて規則を破るときはしっかりと後先考えて誰かに相談したり、けして一人で決めずに行動するのが良いと思った。

●●●●さん 授業前は、反対だったけど授業後は、少し優しめの反対になった。確かに、こちらのいろいろなきまりがあるのに、勝手に自分の都合できまりを破るのはいけないと思った。大切なことは、規則が何のためにあるのか、きまりを守らなきゃいけないという責任だと思った。

●●●●さん 規則を守ることは大事です、規則を破っては駄目と大人は口を揃えて言う。確かに今回の話で言うと、子供達を入れるのは間違っていたと思う。園内に雑木林があることもわかっていたはずだし、大人が付き添いにいないのも危険な要因。だから今回は駄目。でも、破ってもいい、破って進むしかない、逆に破らなければならないという場面に出くわしたら、破るしかない。それで「幸せ」になれるのならいいと思う。